

いくせい

第21号



日生カキオコ体験学習



大漁旗の法被をまとして踊る「ソーラン節」



里海を守るため、海ごみを拾う活動



弓削丸への乗船体験

海と太陽に感謝し、
日生を愛する子どもを育む

日生のよさを見つけ、日生を愛する人になってほしいと願い、日生西小学校では、海に関わる体験活動や地域学習を重視した教育を推進しています。地域の皆様に支えていただき、子どもたちは、自ら見て聴いて話して挑戦しながら学び、仲間と共に成長しています。

「夢をあきらめないで」

備前市青少年健全育成推進本部 本部長 高取 睦

新春を迎えるにあたり、皆様に謹んでお慶びを申し上げます。日頃より、備前市における青少年の健全育成活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。昨年は、国内外において大きな変化と挑戦が続いた一年でございました。その中で、ロサンゼルス・ドジャースの山本由伸投手がメジャーリーグで堂々と活躍する姿は、私たちに大きな希望と勇気を与えてくれました。山本投手が積み重ねてきた努力と「夢をあきらめない」という強い信念は、青少年育成の原点を体現するものといえます。

山本投手の歩みの背後には、幼いころからともに励みし合った仲間、熱意をもって指導した指導者、そして日々支え続けた家族の存在があったと思います。才能や意欲は、地域の温かな理解と応援によってこそ大きく花開くものです。また、子どもたちが地域の人々と関わる体験や、行事・スポーツ・文化活動を通して得る多様な経験は、互いを認め合いながら成長していくための貴重な糧となります。地域社会が共に見守り、声をかけ、時に支え合うことが、未来を担う子どもたちの力を育む土壌になります。

本年も、はぐくむ輝く 備前の子をスローガンに、活動の一層の充実に努めてまいります。地域の力で子どもたちの夢を育み、明るい備前の未来へとともにつないでまいります。

本年が皆さまにとって実り多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

子どもを取り巻く課題 ～小さな変化を見逃さないで～

冬休みに入りました。長期休暇は気も緩みやすく、不規則な生活になりがちです。また、学校や家庭でのストレス、対人関係の変化等が影響し、非行や問題行動の兆候がみられることがあります。周りの大人が、子どもたちの様子に注意してあげましょう。



お子さんの様子は？

- ☐ 学校に行きたがらない
- ☐ 友人関係のトラブル
- ☐ 急激な服装や言動の変化
- ☐ ゲームやスマホ等の利用時間の増加
- ☐ 門限を守らない、深夜徘徊
- ☐ ゲームで知り合った人に自分の情報を教えている
- ☐ お金の無断持ち出し・浪費
- ☐ 見慣れない持ち物が増える
- ☐ 何かを言いだそうとしたり、悩んだりしている

あの子は大丈夫かな？

- ☐ 保護者が小さい子どもを置いて外出している
- ☐ 衣類に臭いや汚れがあっても洗濯していない
- ☐ 異常な泣き声が聞こえる
- ☐ 不自然な外傷がある
- ☐ 遊びに誘っても、いつも来ない
- ☐ 特別な病気がないのに痩せている
- ☐ 夜遅くまで遊んだり、徘徊したりしている
- ☐ 遊びの中で嫌な役割を担わされている
- ☐ いつも疲れている

気になる人や気になることがあれば、こちらへ相談を！

子どもの人権110番	0120-007-110
岡山県警察少年相談窓口 ヤングテレホン	086-231-3741
岡山県青少年総合相談センター	086-224-7110

青少年健全育成大会

本年度の備前市青少年健全育成大会は、十一月十五日(土)午後一時より、昨年度に引き続き備前市吉永地域公民館ホールにて開催されました。

開会の挨拶の後、最初に「明るい家庭づくり」作文最優秀作品の朗読発表があり、賞状の授与が行われました。次に、市内中学校弁論大会最優秀賞受賞者の発表、高校生による意見発表があり、記念品の贈呈が行われました。最後に「健全育成啓発」ポスターの最優秀作品の表彰が行われました。

当日は、大勢の児童生徒・保護者・地域の方々の参加の下、とても有意義な大会となりました。

受賞者

明るい家庭づくり作文

西鶴山小	一年	久山 浩臣
西鶴山小	二年	古林 心春
日生東小	三年	山下 竜輝
日生西小	四年	長尾 奏斗
東鶴山小	五年	安田 一華
日生東小	六年	岩崎 瀬奈
日生中	一年	二階堂義彰
伊里中	二年	中谷菜紬葵
吉永中	三年	目賀陽菜実



青少年健全育成ポスター

伊部小	一年	原田 茜
香登小	二年	齋藤 咲実
日生西小	三年	武田 樹
伊里小	五年	藤本 結菜
伊部小	六年	木村 圭伸
伊里中	一年	的野 心柚
三石中	一年	有吉 悠夏
備前中	二年	小林 志保
備前中	二年	杉田 大智
備前中	二年	松尾 美羽
備前中	三年	小林 真歩
備前中	三年	佐々木翔真

弁論発表者

備前中 三年 大本 ちひろ

意見発表者

備前緑陽高等学校

三年 山口 琥白
片上高等学校 二年 中山 詩遠

《発表を聞いて》

★思わず微笑んでしまったり、涙がこぼれそうになったりする、そんな素敵な時間でした。大切な家族への想い、社会問題に対する意見、自らの生き方についてなど：発表する内容も、学年や年齢もそれぞれ異なりますが、みんな自分の思いや考えを、自身の素直な言葉で綴り、それを一生懸命自分の声に乗せて伝えようとしている、だからこそ、これほどまでに聴く者の心を打つのだと感じました。

★どの児童・生徒さんの作文も、自分の家族に対する「ありがとう。」という感謝の気持ちや「大好きだよ。」という大切に思う気持ちが表れていました。微笑ましいエピソードに心が温かくなったり、悲しい出来事にしんみりしたりしながら聴かせていただきました。朗読する声や姿勢も堂々としていて、素晴らしいなと思いました。

激励賞

がんばっている子に激励賞を！

(小学生～十歳未満)

令和六年度は、団体一件、個人十六件の表彰をしました。

☆中学生が、地域のイベントやボランティア活動に自主的・継続的に取り組めた。

☆小学生が、「元気に過ごしてほしい」という想いで、校門に立ちあいさつ運動を続けた。

☆「びぜん緑の少年隊」が第七十四回全国植樹祭記念事業に積極的に参加した。

激励したい子どもがいましたら、育成センター(☎六四一四一五八)にお知らせください。

1人で悩むの、もうやめよう！

内容などの個人の秘密は固く守られていますので、安心してご相談ください。

非行、不登校、いじめ・いたずら、学業・進路、家庭(家族)、学校、友人関係、からだ、その他

『困った!』『どうしよう!』



育成センター相談電話
TEL:64-4158

相談日：土・日・祝日を除く毎日(8:30～17:00)
来所相談(面接相談)もお受けします。

青少年健全育成啓発行事

「青少年健全育成啓発劇とダンス」

劇団花みずき

《公演の論旨》

劇「私の夢」 劇団花みずき

今年、吉永地区を中心に活動している劇団花みずきによる劇「私の夢」とダンスショーが行われました。

ミュージカル女優として二十年間活躍してきた立花マリは、自身のリサイクルを開くにあたり、かつてのミュージカル俳優を目ざしていた盟友達とそれぞれ違う立場で再会する。「結局、夢を掴んだのはマリちゃんだけか」と言う



二人の言葉に、順風満帆に見えるマリだが、ここ数年頭を悩ます問題が：長年酷使していた脚が悲鳴をあげそうになっているのだ。マリは突然、自身のリサイクル中に倒れてしまう。脚が限界に達してし

まったのだ。一度は舞台をあきらめる決心をしたのだが、周りの人々に励まされ、もう一度自分の夢を叶えようと立ち上がる。

夢をテーマに、マリと周囲の人々との交流を描いた心あたたまる物語が団員の熱演と共に繰り広げられた。

《観劇の感想》

★特別公演、ダンスショーを通して、夢をかなえるためには、壁にぶつかっても「諦めずに継続」する努力が必要だと改めて感じました。夢を見つけ「Start」を切ることの勇氣、そして努力し続ける小学生の皆さんが舞台で演技される姿は、本当に印象的でした。その活躍は、保護者の方々をはじめとする周囲の方々のあたたかい支えがあつてこそだと思えます。夢を現実にするためにひたむきに頑張る姿は、応援する私達にも大きな力を与えてくれます。困難に直面しても、支えがあれば何度でも新たな「Start」が切れ

地区指導員		氏名
西鶴山	長山小	代規平 子郁 佳三男 美順 禎宏 成子 恵樹 一
香登	武大平	田形坂 用崎 正辰 和野 井野 一智 基美 三宏 樹一
伊部	伊里	三松星 三箇内 智基 美子 恵樹 一
東鶴山	三武林	有吉本 取岡 賢一
三日	石生	
吉永		

備前市青少年育成センターでは、地域に密着した青少年の健全育成を目指して、地区指導員を委嘱しています。青少年のことで、気になることがありましたら、地区指導員か育成センターにご相談ください。



ることの尊さを再認識しました。私も、子どもが夢を継続できよう、いつでも信じて温かく背中を押してあげられる存在でありたいと思います。

★今大会の青少年健全育成啓発行事として劇団「花みずき」による演劇「私の夢」とダンスショー「Start」が発表された。今回結成三十三年目を迎える花みずきは、備前市を中心に活動するアマチュア劇団。今回が三百八十三回目の公演ということで、演劇、ダンスショーとも本格的なエンターテインメントを見せていただきました。

演劇「私の夢」は、挫折や苦悩を乗り越えて、夢に向かってあきらめない女性シンガーが主人公。シンガーと共演するダンサーや、病院に入院している子どもなどの登場人物も

それぞれの挫折を克服していく内容でした。人はそれぞれいろいろな悩みを抱えています。夢を叶えるために頑張ることの大切さを学ぶことが出来ました。

ダンスショー「Start」では、キッズダンス、大人団員によるダンス、最後は劇団全員によるフィナーレとなりました。ダンスショー終盤では、ステージと会場がひとつになり盛り上がりしました。

「私には夢がある 大きな夢が楽しいことが待っている♪
叶わない夢はない 輝く未来 この手をつかみ取ろう 私の夢♪」

会場で見えていた青少年にとって、未来が明るくなるような内容でした。また、「一度あきらめた夢でも遅くない。いつでも夢を追いかけることが出来る。」いつかの夢を忘れてしまった我々大人にも心に響くすばらしい公演でした。